

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年3月16日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102534
法人名	有限会社 いこいの広場
事業所名	グループホーム いこいの広場
所在地	鹿児島県鹿児島市坂之上四丁目4番33号 (電話) 099-210-8230
自己評価作成日	平成25年2月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年3月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の皆様が、家庭的な雰囲気の中で過ごしていただける様に、ゆっくりとした環境の中で、毎日の生活をスタッフと共に送られています。広間には入居者の皆様がゆっくりと過ごして頂ける様に、ソファと畳の空間があり、限られた空間を活かしたつくりになっています。また入居者様の居室から直接ベランダに出ることが出来るので、天気の良い日は外でお茶を飲みながら日光浴を楽しんだり、入居者様とスタッフが共に楽しく暮らして行けるように工夫しています。またベランダには「いこいの野菜畑」があり、季節の野菜作りや収穫をたのしんでいます。もちろん車椅子を使用している入居者様も野菜づくりや収穫を楽しんで頂ける様に配慮しています。いこいの広場全体の雰囲気として、施設を感じさせない家庭的な空気を持っているグループホームになっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・「ゆっくりと楽しく過ごしていただく」との理念のもとに、家庭的な雰囲気を大事にしたサービスが提供できるように努めている。
- ・ホームは、ウッドデッキのベランダなどがあり、その周辺には、「いこいの野菜畑」があつて、利用者が日常活動で楽しめる工夫をしている。
- ・地域の行事等に参加したり、大学生や地域のボランティアを受け入れたりしている。また、町内会との災害時の協力体制もできており、地域住民が気軽に遊びに来る等、地域との交流やつながりを大事にしている。
- ・利用者へのサービス向上について、身体拘束廃止委員会等の委員会活動があり、よりよいサービスが提供できるように、ホーム全体で取り組んでいる。
- ・協力医療機関からの定期往診や緊急時の医療連携ができています。また、歯科の往診もあり看護師も配置している。利用者や家族にとって安心できる生活環境である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	お互いに共通した意識を持ち、事業所理念に基づき実践・行動している。	理念は玄関や事務所に掲示し、パンフレットや「いこいの広場便り」にも載せている。毎朝の申し送り時に唱和し、職員会議等にて理念について確認し合い、職員はよりよいサービスが提供できるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、地域の夏祭りや他の町内会の行事や会合にも出席している。	町内会に加入し、地域の夏祭りなどに参加しており、近くの大学生や町内会を通じてボランティアも受け入れている。町内会との災害時の協力体制もできている。地域住民が気軽に遊びに来たり野菜等の差し入れがあるなど、地域と日常的に交流が行なわれている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町内会の会合などに出席し、「認知症とは」・「福祉サービスについて」等の話を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、話し合いの中での声や意見をしっかりと受け止め、サービスの向上のために活かしている	会議には、家族や民生委員・町内会長・地域住民・地域包括支援センター職員等が出席している。活動内容等を説明したり、外部評価の結果についても報告し、意見交換を行い、地域の理解と支援を得るための努力をしている。町内会との関係強化にも役立っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	定期的担当者と話をしたりと、日常的に協力関係を築いている	運営推進会議に地域包括支援センター職員が出席して意見交換をしたり、市主催の研修会等に参加し連携を深めている。また、介護相談員を受け入れており、福祉関係について、必要に応じ各担当課へ出向き相談や情報交換を行い、関係づくりを心がけている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	禁止の対象となる具体的な行為を職員全体で理解している。また常日頃から玄関は開放している	入居時に事業所の基本方針を説明し、玄関にも身体拘束排除宣言を掲示している。身体拘束廃止委員会があり、職員会議等にて話し合い共通認識を図っている。身体拘束をしないケアに取り組んでおり、日中は玄関の施錠はせずに自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員全員が虐待に対して常に注意を払っている。また学習会を行っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度が理解できるように話し合いを持ち取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時など、ご家族や、利用者と十分に説明・理解を頂いた上で、契約を交わしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議や、面会時などを通して、入居者様やご家族様が意見・要望を伺っている。</p>	<p>利用者からは、日頃の生活の中や自室で個別に意見や要望を聞いている。家族からは、運営推進会議や面会時・電話等で意見や要望を聴取している。要望等は、職員会議や申し送りの場を活用し話し合い、解決できるように努めており、必要に応じて運営推進会議にも報告し運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議などで、職員の意見や提案を聞く機会がある。また普段の会話でも意見・提案を話している。</p>	<p>代表者や管理者は、毎月の職員会議や現場にて、職員からの運営に関する意見や要望等を聞いている。また、日常的にコミュニケーションをとるように心がけており、勤務希望についても配慮している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個人個人の能力に応じながら、働き甲斐が保てるように取り組んでいる。また管理者と職員が気軽に話ができる環境が出来ている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員一人一人のレベルに応じた研修を受けられるように取り組んでいる</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>定期的に同業者同士で交流を行い、サービス向上が出来るように取り組んでいる</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>安心してサービスを受けて頂ける様に、訴えをしっかりと傾聴し、安心を確保できる関係づくりに取り組んでいる</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>話をしっかりと伺い、ご家族と信頼関係が築けるように取り組んでいる。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人やご家族に伺いながら、一番必要なサービスは何かを見極め対応・支援している</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>一緒に暮らしを共にする者として、支えあったり、笑ったりと信頼関係を築いている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族とよく話をしながら、本人と共に支えあう関係を築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	大切な関係が途切れないように、定期的に連絡をしたり、取り組み支援している	家族へ毎月広場便りを送付したり、定期的に電話連絡をしている。友人や知人とは、電話等で関係が継続できるように支援している。墓参りや知人宅訪問等は、家族の協力をもらって実施し、馴染みの関係継続の支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士が、良い関係で日常を過ごせるように、職員が何気なく間に入ったりと支援している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	いつでも相談に応じたり、定期的に連絡したりと支援に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人が、何を望んでいるかを考え、意向や希望に添えるように支援している	利用者からは、普段の生活の中で表情や会話や仕草に注意して、思いや意向の把握に努めている。家族からは、入居時や面会時に情報を得ており、本人の意思を尊重した生活ができるように、職員が情報を共有し支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時など、本人・ご家族・サービス担当者から、話を伺い把握している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りや、個人記録などにより、現状の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	チームとして、本人を交えながら、一番良い現状に即した介護計画を作成し取り組んでいる。またモニタリングも定期的に行っている	利用者や家族の意見を聞き、暮らしぶりをもとに職員会議で話し合い、本人や家族が参加するサービス担当者会議も実施し、現状に即したプランになるように作成している。介護計画の見直しは、3ヶ月毎に行い、状態が変化した場合は、随時見直している。モニタリングは3ヶ月毎に実施している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録を活用したり申し送りなどで情報の共有を図っている。またそれを介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々状況に応じられるように、臨機応変に対応し支援している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域に溶け込めるように、町内会の夏祭りに参加したりと、心も豊かになれるように支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との信頼関係は築けている。いつでも連絡が取れ往診に来て頂けるように体制が出来ている	希望のかかりつけ医への受診を支援している。通院は看護師を配置し、必要に応じて家族の協力も得ながら支援している。協力医療機関から2週間に1回の往診や歯科の往診がある。医療連携体制ができており緊急時の対応など、利用者や家族にとって安心な生活環境である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>気づいた事があればすぐに相談出来る様にしている。また適切な受診が出来るように支援している</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>なるべく早期に退院できるように、病院関係者との情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居者様やご家族様と話し合いを充分持ちながら、ここで出来る最大限の支援を行っている</p>	<p>重度化や終末期に向けた対応については、入居時に事業所の方針を説明している。「看取り看護・介護について」の同意書をもっており、本人や家族の希望に沿った対応を支援している。ホームとして看取りの事例もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に訓練を行い急変時や事故発生時に備えている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に消防避難訓練を行っている。また地域との協力体制も出来ている（特に隣家）</p>	<p>避難訓練は、年2回実施しており、町内会長を窓口地域との協力体制もできている。自主訓練も年3回行っている。スプリンクラーを設置し、救急救命講習や消火器の訓練も実施している。非常用の食料や水の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に、入居者様の自尊心を傷付けないように対応し接している	ケア時の利用者の尊厳については、職員会議等にて話し合い、必要に応じてミーティングで確認している。排泄誘導時等は静かなトーンでの声かけを心がけ、トイレや居室への入室の際は必ずノックや声かけを行うなど、利用者の誇りやプライバシーを損ねない個人を尊重したケアを行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自分の意思で、希望を表せられるような声かけを行うようにし支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせ過ぎて貰えるように、本人の声を拾いながら支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	乳液や化粧水など、いつでもおしゃれが出来るように支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者とスタッフが一緒になって、盛り付けや配膳を行い楽しい食事が摂れる様に支援している	献立は利用者の好みを聞き、買い物や配膳・盛りつけ等を一緒に行っている。近所からの差し入れの野菜や庭の菜園の野菜を収穫したり、外出行事では、手作り弁当を作るなどして利用者が楽しめるように工夫している。職員と利用者が同じテーブルを囲んで楽しく食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりに応じた支援を行っている。またかかりつけの病院の栄養士に献立の栄養チェックをして頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い、本人が出来ない所は介助にて支援している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本人に合わせた支援を行い、失敗をしてしまった時でも自尊心を傷付けないように支援している	排泄チェック表を作成し、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握している。適時に声かけを行い、トイレ誘導で、昼夜オムツ使用から日中はリハビリパンツになった利用者が数名いる。できるだけおむつをしないで済むように、排泄の自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を含む食事を提供したり、毎日の運動を行い、便秘の予防に取り組んでいる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ゆったりとした入浴が楽しめるように、一人ひとりの要望になるべく多く答えられるように支援している	入浴は、週に3回のペースであり、利用者の希望を尊重している。ゆず湯や入浴剤などを使用したり、同性介助等の要望に応じている。また、利用者のペースを重視して、コミュニケーションを大事にした入浴支援を心がけている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの入床時間に合わせ安心して睡眠が摂れる様に支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の副作用などスタッフ全員が理解している。また個人ファイルに薬の一覧を綴ってあるのですぐに確認出来るようになっている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日が楽しく過ごせるように一人ひとりの好みや趣味を把握し支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	戸外に出かけられるように支援に努めている。またご家族の協力を頂きながら希望に添えるように取り組んでいる	日常的に天気のよい日は、近くの公園へ散歩したり、買い物・ドライブの外出をしている。日光浴を兼ねたウッドデッキでのお茶飲みや年間行事計画で花見に出かけている。利用者希望による墓参り等は、家族の協力を得て支援しており、歩行困難な利用者も、外出行事では、リフト車を利用して出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持ち管理する事の大切さを理解している。また買い物の際には支払いをお願いし支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	すぐに電話が出来るように広間に電話の子機を準備し支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間を、少しでも居心地よく過ごしていただける様に配慮し、支援している。また季節も感じて頂ける様に、外の野菜を収穫し支援している	共用空間は明るく家庭的な温かさがある。畳のスペースやソファがあり、ゆっくり過ごせる場所となっている。玄関には、民芸品や利用者の行事の写真等が展示されている。ウッドデッキで外気に触れたりお茶のみができる等、利用者が落ち着いて生活できる環境になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>限られたスペースであるが、広間には、ソファとたたみの共用空間があり、入居者様は自由に過ごして頂いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>なるべく本人の物を使用して頂くように入居時に持ってきて頂き安心して過ごせるように配慮している</p>	<p>居室は洋室と和室があり、ベッドとタンスが備え付けてある。居室には、写真や本人の使い慣れた家具・飾り物等が持ち込まれ、利用者が居心地よく暮らせるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下の手すりなど、入居者様がなるべく自立した生活が出来るように支援している。またソフト面でも配慮し生活を支援している</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない